



株式会社篠浦総合板金 SDGs宣言

当社は、「後戻りしない:事前準備と管理を徹底することで高品質なモノづくりをお客様へ提供する」という経営理念のもと、事業活動を通じて「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献し、地域課題の解決および、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2022年12月6日

株式会社篠浦総合板金

代表取締役 篠浦 昇



重点項目(ターゲット2030)

環境負荷の低減

建設業の立場から、材料や工法を工夫し、CO2削減とお客さまのランニングコストとの両面に貢献する提案を推進します。

【主な取り組み】

通気性・遮熱性を高める材料・工法による環境負荷低減の提案、廃材の再利用促進で廃棄物量の削減



安全なモノづくり

製品の安全性を確保するため、事前準備を励行し、作業の管理を徹底します。顧客に安心を提供し信頼の向上を目指します。

【主な取り組み】

事故防止マニュアルの作成と社内周知、工事着手前に想定される事故の社内共有による事故防止の徹底



職場環境の改善・人材育成

ハラスメントや、過重労働に厳しく対処し、安全で働きやすい職場環境作りに努めます。そして従業員が互いに教えあう雰囲気醸成し、高い技術力を備えた組織を構築します。

【主な取り組み】

ハラスメント防止に向けた環境改善、長時間労働の是正、休暇取得支援、経営陣の積極的な現場とのコミュニケーション、OJTによる技術者の育成



安心な組織体制の構築

コンプライアンスを徹底し、組織の健全性や透明性の確保に努めます。取引先とは対等であることを旨とし、公正な取引を行い、信頼され続ける会社を目指します。

【主な取り組み】

コンプライアンスの徹底、公正な取引の遵守、情報管理の徹底、経営理念の明確化、議事録の厳正な管理・保管



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」とは

- ・ 貧困、気候変動、人種・性差別、働き方などのさまざまな問題が顕在化する中、持続可能な社会をつくるために国連が定めた国際目標です。2030年までに解決すべき優先課題として、17の目標と169のターゲットが示されています。
- ・ 目標を達成するために、国連や政府だけでなく、企業やNPO、個人等が幅広く担い手として活躍するよう期待されています。
- ・ 企業がSDGsに取り組むことで、「気候変動をはじめ経営環境が変化していく中でも持続可能な組織である」と示すことにつながります。